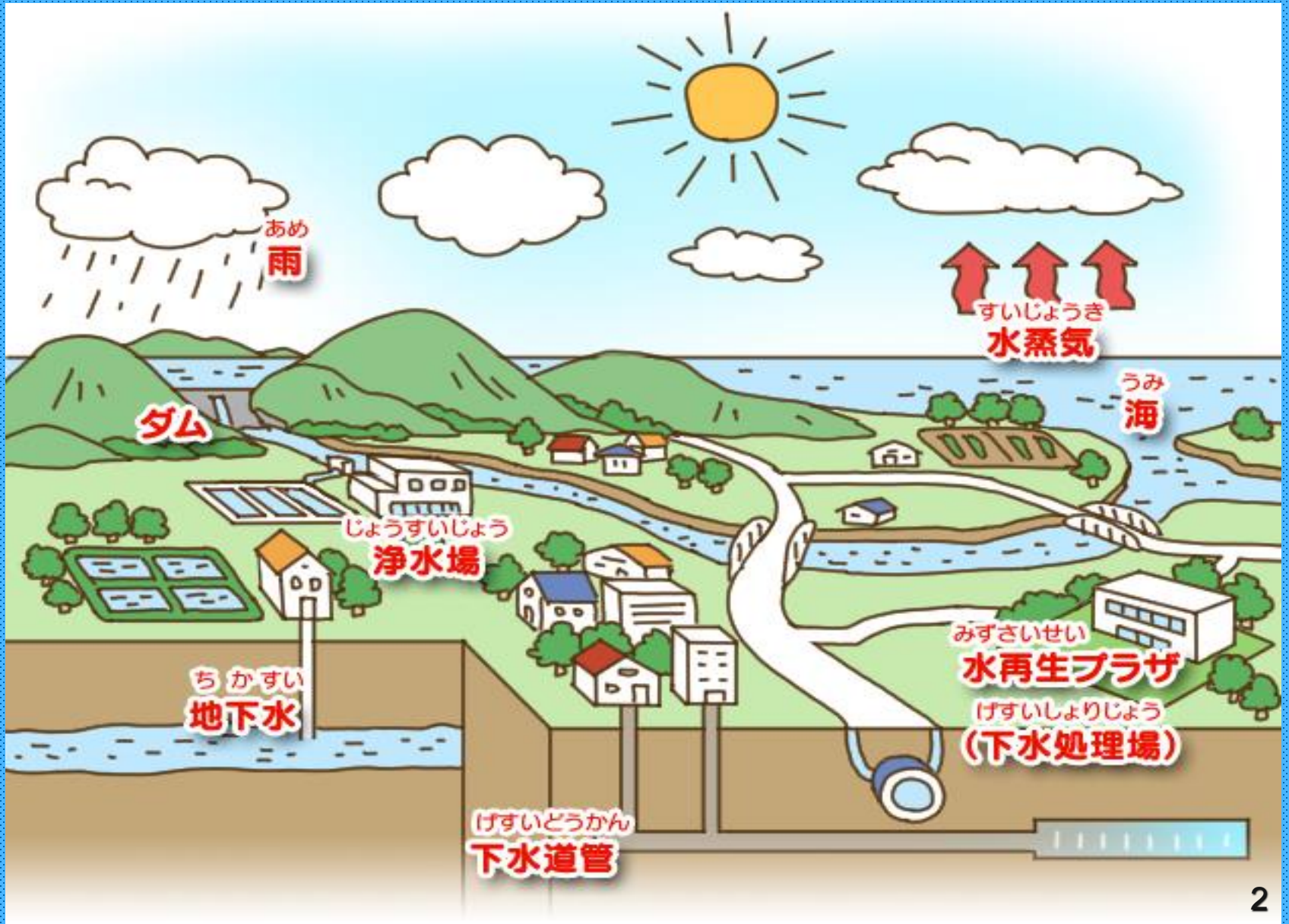


上下水道事業の概要

令和2年7月20日

第1回甲府市水道料金等審議会

水の循環



水道の目的

水道法（第1条）

清浄にして豊富低廉な水の供給を図り、もつて公衆衛生の向上と生活環境の改善とに寄与する

水道の3原則

「清浄」「豊富」「低廉」

甲府水道の歴史

約400年前の「甲府用水」が始まり



水屋



甲府市中央で発掘された
木樋(もくひ)

甲府水道の歴史

明治 22年	7月	甲府市制施行
明治 42年	10月	創設事業認可
大正 2年	1月	給水開始
昭和 8年	10月	第1期拡張事業認可
昭和 27年	2月	第2期拡張事業認可
	10月	地方公営企業法適用
昭和 29年		山城村等10カ村と合併

- 昭和33年 2月 給水区域編入
(合併編入区域、昭和村の一部)
- 昭和38年12月 第3期拡張事業認可
(昭和村、敷島町)
- 昭和47年 1月 第4期拡張事業認可
(玉穂村)
- 昭和50年12月 第5期拡張事業認可
- 平成18年 3月 中道町と合併
- 平成23年10月 中道水道事業を統合
- 平成25年 1月 給水開始100周年

創設期の施設

中区配水池（現在稼働中）

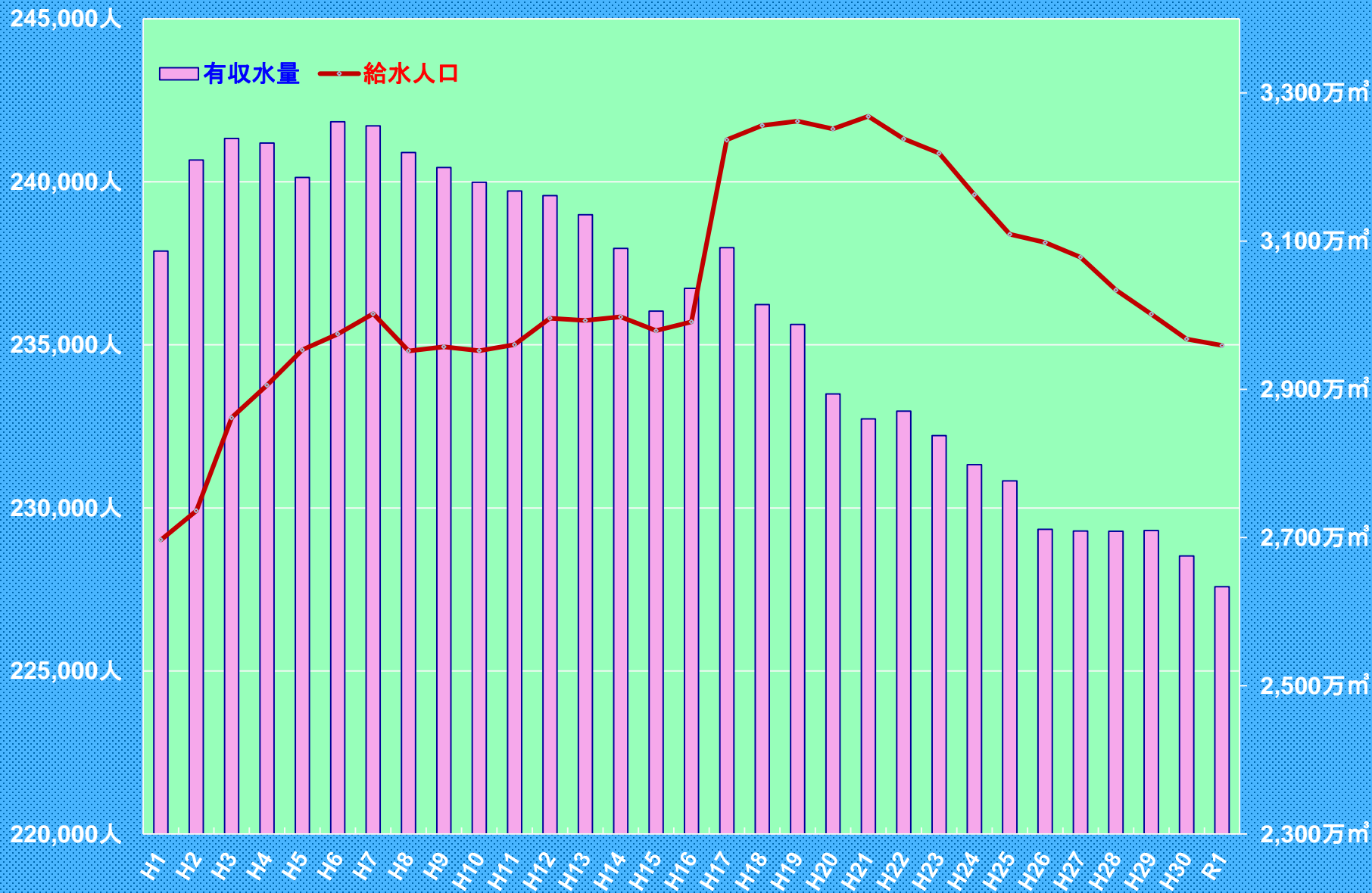


通水式典
(創設期：大正2年)



中区配水池
(現在)

年間総有収水量と給水人口の推移



※平成17年度から水量、人口共に旧中道町を含む

給水概要

令和2年3月末現在

給水人口	234,981人
給水世帯	111,840戸
普及率	99.3%
施設能力	
平瀬	126,400m ³ /日
昭和	62,000m ³ /日
中道	5,720m ³ /日
1日平均配水量	86,804m ³ /日
管路延長	1,461.8km



安全

安全で良質な水道水を安心してご利用いただくために、水源からご家庭の蛇口に至るまで定期的な水質検査を行っています。
平成28年6月に水道GLP全51項目の認定を取得しました。



水道GLP認定書



おいしい水

厚生省「おいしい水研究会」が選んだ
「水道水がおいしい都市」32市

- 近代水道100選（厚労省）
- 水源の森100選（林野庁）

2020モンドセレクション

優秀品質「最高金賞」受賞



3年連続金賞以上
受賞に贈られる
インターナショナル
ハイクオリティトロフィー
獲得！！

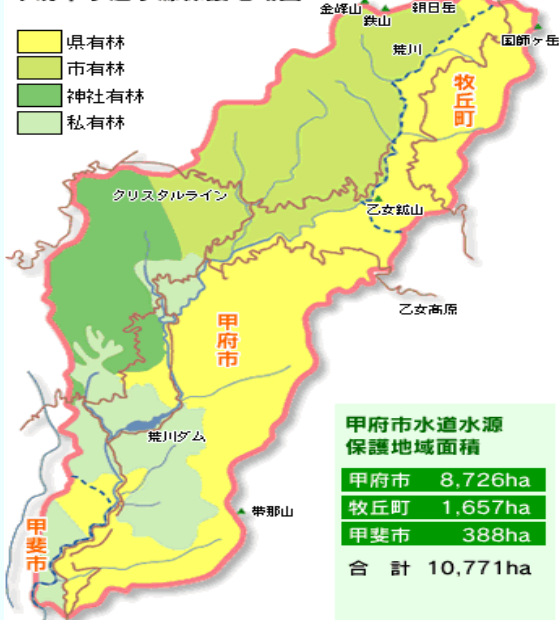


将来も安全でおいしい水

「緑のダム」 水源かん養林

- ・洪水緩和機能
- ・渇水緩和機能
- ・水質浄化機能

甲府市水道水源保護地域図



「新21世紀水源保全計画」 (市民との協働による水源保全)

- ・水源林植樹の集い
- 水道水源クリーン作戦
- 水源フォーラム
- 水源林観察会
- 水源流域合併処理浄化槽設置
- 山梨大学との共同研究 他



災害対策

【地震対策】

- ・主要施設の耐震化・・・浄水場・主要配水施設の耐震化
- ・主要管路の耐震化・・・基幹管路等の耐震管の布設
- ・配水池緊急遮断弁の設置・・・緊急遮断弁による水道水確保
- ・非常用貯水槽の設置・・・市役所及び避難所への水道水確保
- ・災害時応援協定・・・日本水道協会、管工事協同組合等との
応急給水及び応急復旧に関する協定
- ・水道事業業務継続計画（BCP）・・・地震編

【浸水対策】

- ・浄水施設の浸水対策・・・昭和浄水場、
本局舎等の浸水対策



下水道の目的

下水道法（第1条）

都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の水質の保全に資する

下水道の目的の変遷

コレラの流行



公衆衛生

浸水被害の増大



浸水対策

生活環境への関心の
高まり



便所の水洗化

河川や海等の水質の悪化



公共用水域の水質保全

省エネ・リサイクル社会
の到来



下水道資源等の有効利用

潤いのある空間への
関心の高まり



望ましい水循環・水環境の創出

甲府市公共下水道の歴史



昭和 29 年 2 月 事業認可

昭和 37 年 8 月 供用開始

9 月 住吉終末処理場運転開始

昭和 44 年 2 月 合流式から分流式へ

昭和 55 年 8 月 大津終末処理場運転開始

平成 3 年 4 月 地方公営企業法財務規定適用

平成 1 4 年 3 月 市街化区域が概ね完了

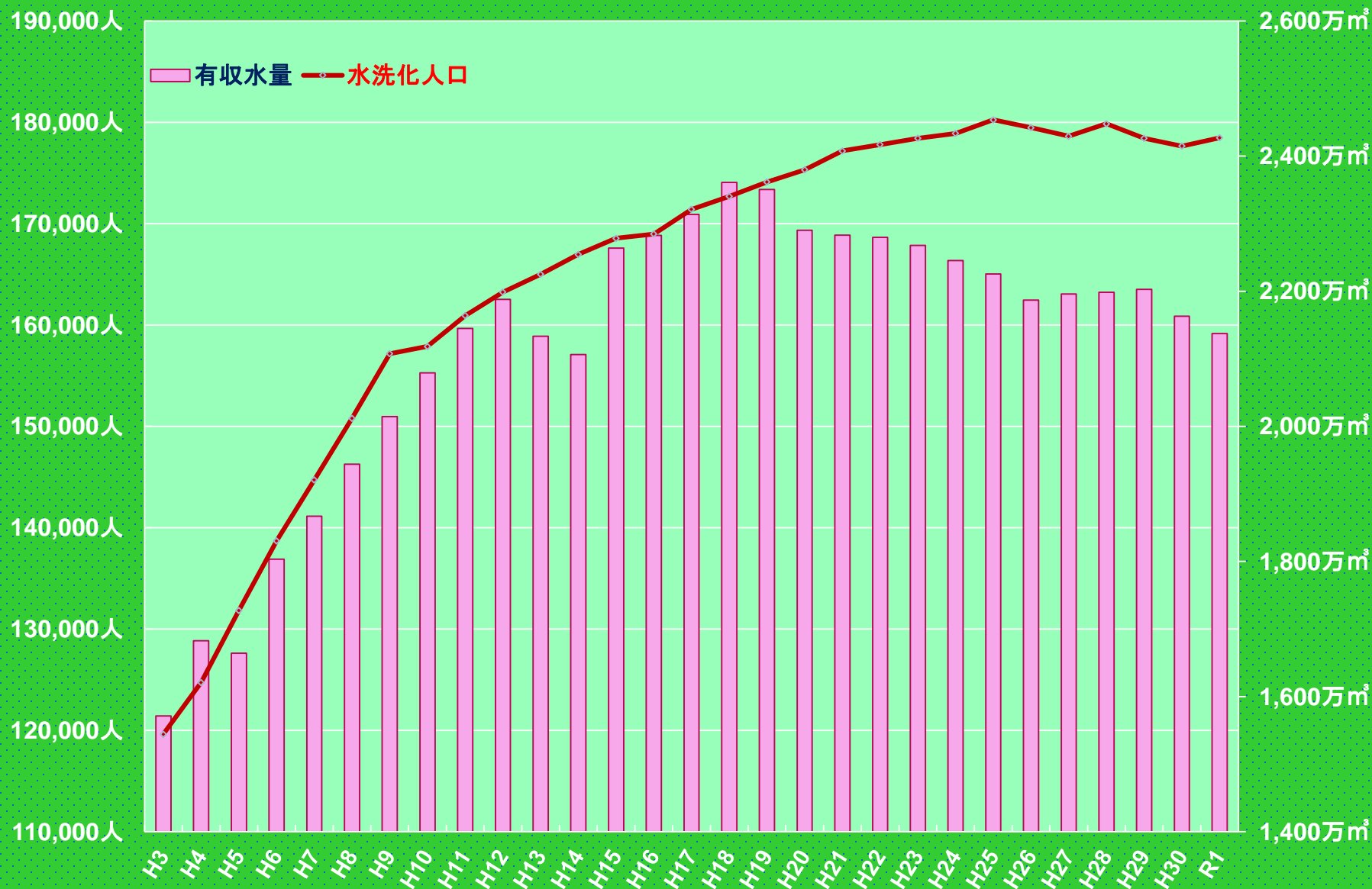
9 月 市街化調整区域追加の
認可変更

平成 1 8 年 3 月 中道町と合併し、中道事業と
業統合

平成 1 9 年 4 月 地方公営企業法を全部適用
甲府市上下水道局を設置

平成 2 4 年 8 月 供用開始 5 0 周年

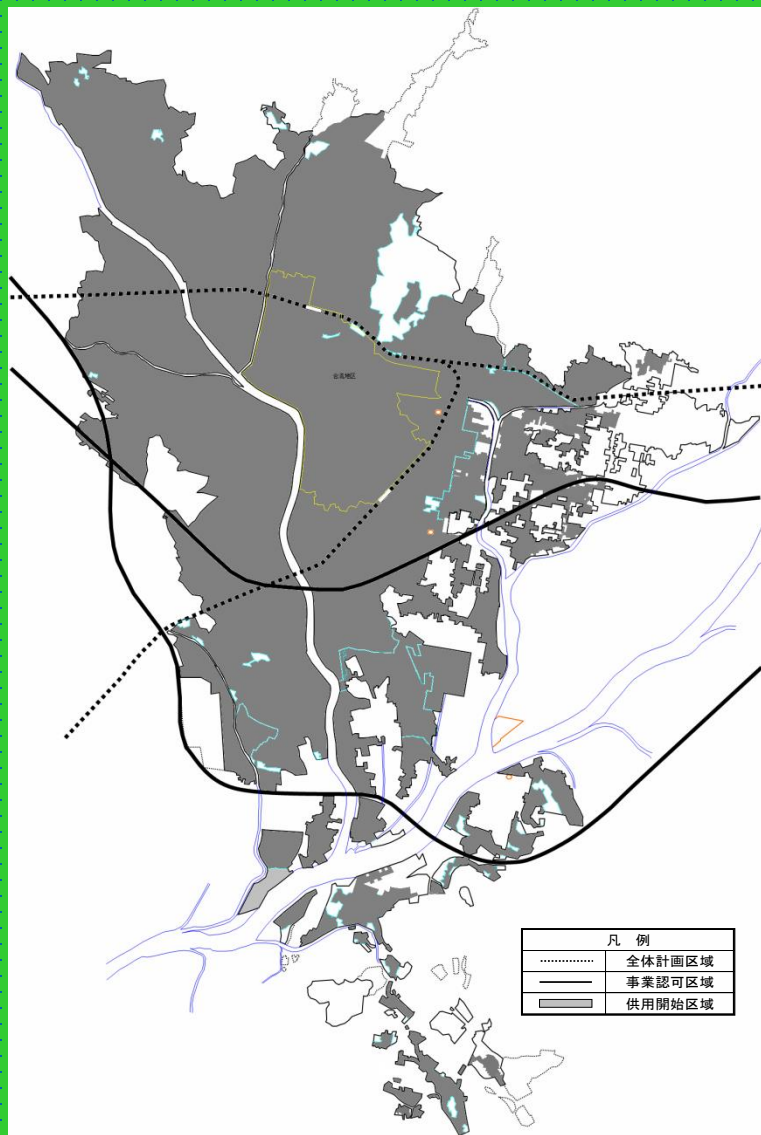
年間総有収水量と水洗化人口の推移



※平成18年度からの水量、人口共に峡東流域関連公共（旧中道町）を含む

普及状況

令和2年3月末現在



供用開始人口	181,268人
供用開始世帯	88,281戸
整備面積	4,030.8ha
普及率（甲府市）	96.9%
普及率 （平成31年3月末時点 全国）	79.3%
普及率 （平成31年3月末時点 県内）	66.7%

管路延長（污水）	851.0km
管路延長（雨水）	273.8km
管路延長（合流式）	90.3km

処理能力（甲府市浄化センター）	
晴天時汚水量	159,500m ³ /日
一日平均処理水量	104,841m ³ /日

下水道の役割

・汚水（おすい）の排除・処理

- ・周辺環境の改善
- ・トイレの水洗化
- ・河川の水質の保全



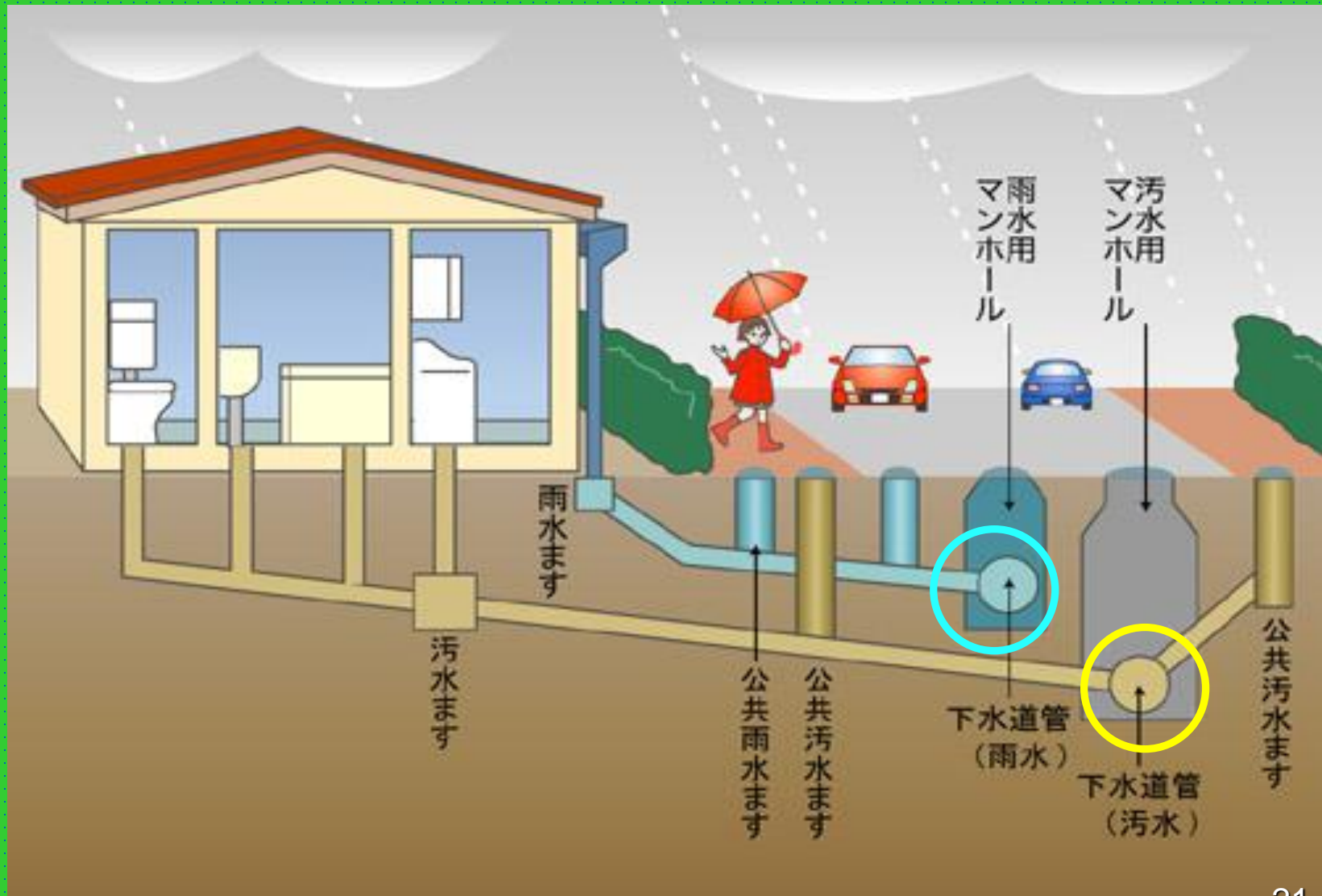
・雨水（うすい）の排除

- ・浸水の防除



分流式 汚水と雨水をそれぞれの管で排除

(昭和44年以降は全て分流式)



合流式 汚水と雨水を同一の管で排除

(下水道を布設し始めた当初採用された方式)



- 【メリット】
汚水と 雨水が同時に整備できる
- 【デメリット】
雨天時に河川等へ放流する構造
河川の水質汚濁

甲府の処理区

旧甲府市

大津処理区
分流式と合流式



甲府市浄化センター
(大津) に接続

旧中道町

峡東処理区
分流式



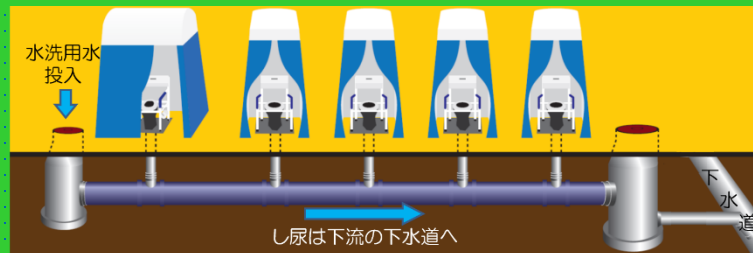
峡東流域下水道
(処理場と幹線管きよ
を県が管理) に接続



災害対策

【地震対策】

- ・主要施設の耐震化・・・終末処理場、雨水ポンプ場等
主要施設の耐震化
- ・主要管路の耐震化・・・基幹管路等の耐震管の布設
- ・マンホールトイレの設置・・・市役所及び避難所のトイレ確保
- ・下水道事業業務継続計画（BCP）・・・地震編



マンホールトイレイメージ

【浸水対策】

- ・処理場等施設の浸水対策・・・浄化センター、住吉中継ポンプ場の浸水対策計画の検討

マンホールの蓋の活用

デザインマンホールとマンホールカード



環境負荷の軽減と新エネルギーの活用



山宮発電所
(小水力発電)



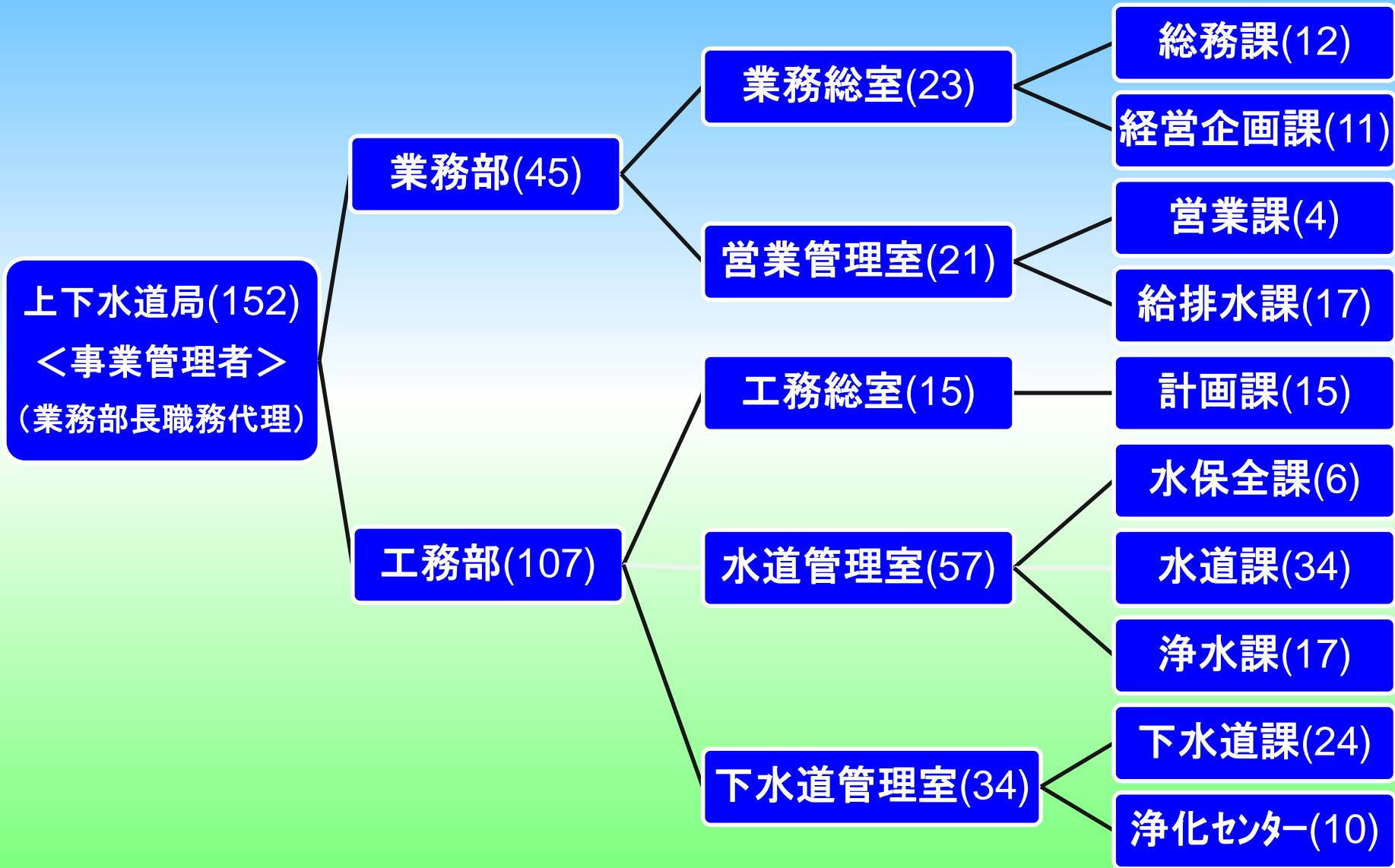
ナトリウム硫黄電池
システム



上下水道局庁舎
太陽光発電システム

上下水道局組織体系図

令和2年4月1日現在



経営理念

お客様との信頼関係を大切にし、将来にわたり「水」を通じた潤いのある生活環境を安全・安心のもと安定的に提供し続けます。

